

2026年 中学校部活動は「KOBE◆KATSU」へ

BE KOBE

神戸市教育委員会

「部活動」から「地域クラブ活動」へ



●部活動を取り巻く状況

子供たちの健やかな成長に大きな役割を果たしてきた部活動ですが、生徒数の減少等によるやむを得ない廃部や、単独で試合に出られない学校が大幅に増えるなど、今後子供たちの活動の選択肢がさらに少なくなることが危惧されます。また、これまで教員が自身の時間を削り、わずかな手当だけで支えてきましたが、全国的に教員不足が深刻化する中で、部活動の仕組みは限界に近づいています。



●「KOBE◆KATSU」への移行

神戸市では、部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来に渡って子供たちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することを目的として、2026年度より平日・休日ともに、生徒が地域の方々とともに活動する

「神戸の地域クラブ活動」

= 「KOBE◆KATSU (コベカツ)」

への完全移行を目指します。

「KOBE◆KATSU」とは



「KOBE◆KATSU」コンセプト

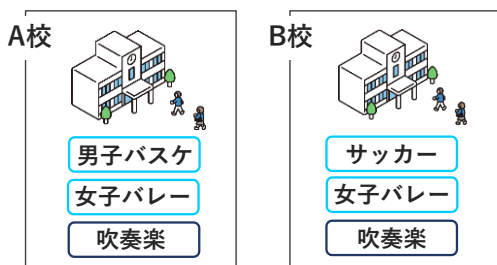
- 校区を越えて子供たち自身が「やりたいこと」を選んで活動します。
- 部活動になかった新種目や気軽に取り組める活動などニーズに合った活動の場を提供します。
- 子供たちが活動の主役となり、大人が一方的に勝利至上を押し付けません。

- 地域のスポーツ団体をはじめとした幅広い団体が主体となり、中学校の施設を活用し、スポーツや文化活動など、子供たちに活動の場を提供します。
- 活動団体は登録制とし、教育委員会が公募し、審査を行った上で登録します。
- 「KOBE◆KATSU」の各クラブの運営に必要な最低限の費用は原則として各家庭にご負担いただく予定です。（会費制）

●校区を越えて参加できる「KOBE◆KATSU」クラブ

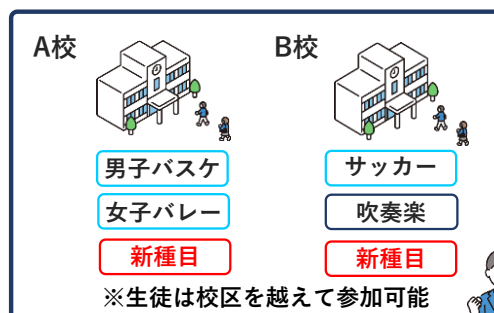
新種目を含めた選択肢から「やりたいこと」を選んで参加できます。

<これまでの学校部活動（例）>



※原則として生徒は各校の種目から選択

<KOBE◆KATSUクラブ（例）>



●部活動と「K O B E ◆ K A T S U」の比較

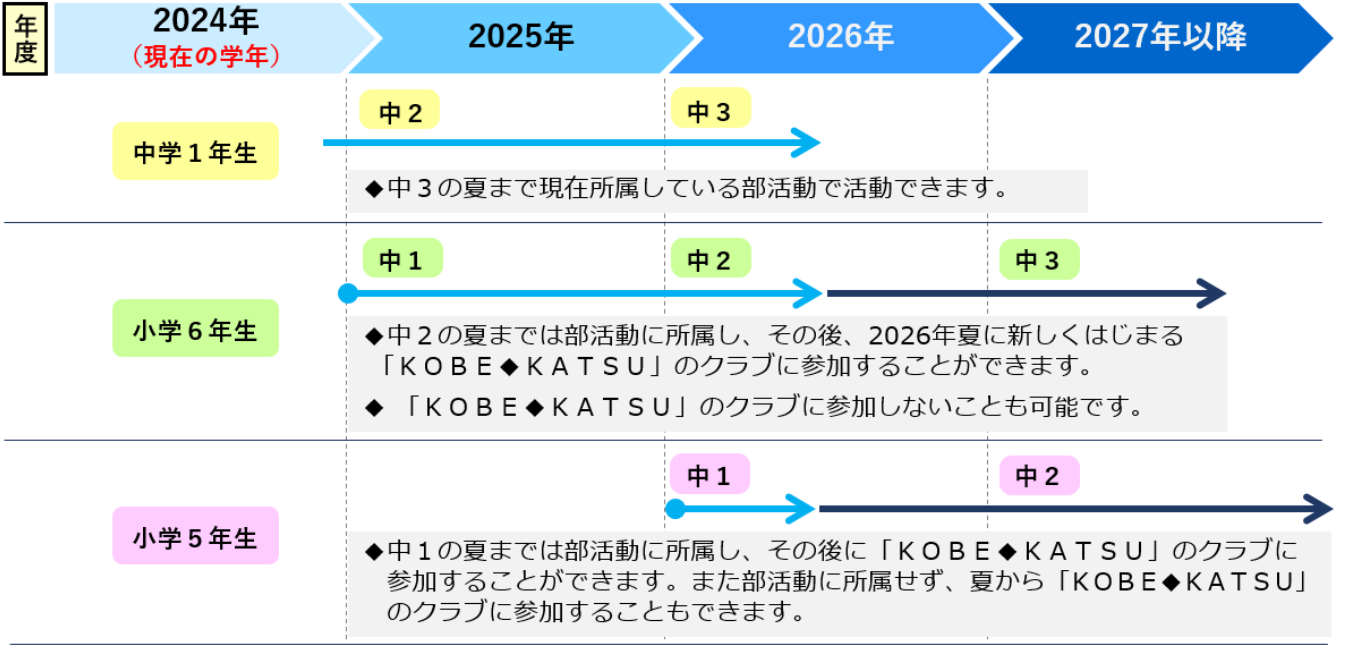
	中学校部活動	「K O B E ◆ K A T S U」
運営主体	学校	地域の様々な団体（登録制）
指導者	教員、部活動指導員	地域の指導者、希望する教員（兼職兼業）
参加者	当該校の生徒	生徒等（参加範囲を柔軟に設定）
活動場所	学校施設	学校施設、地域の諸施設
費用負担	部費（実費相当）	月会費等
保 険	日本スポーツ振興センター災害共済	スポーツ安全保険



移行までのスケジュール



●移行期間における対応



※2026年夏よりも前から先行実施する「K O B E ◆ K A T S U」もあります。